

地域支援だより



令和2年6月19日

第103号

# きらりNet

秋田県立秋田きらり支援学校  
地域支援部



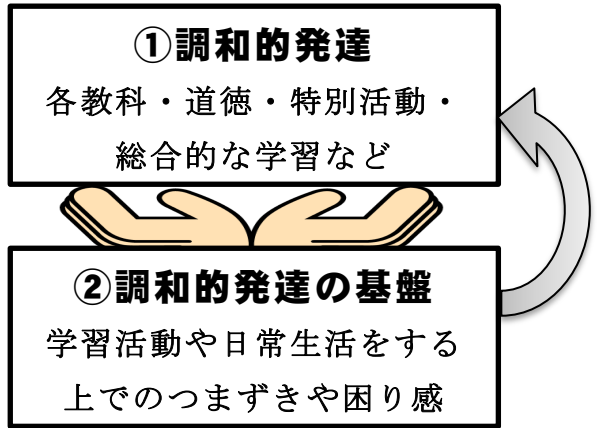
## 自立活動の指導について ～各教科とどんな関係？～

自立活動は各教科と異なり、個に応じたオーダーメイドの指導です。学習指導要領には次のように書かれています。

【目標】 個々の児童又は生徒が自立を目指し、障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって①心身の調和的発達②基盤を培う。

①の調和的発達を目指すのが「各教科等」、②の調和的発達の基盤をつくるのが「自立活動」になります。各教科等と自立活動は、左図のような関係になります。自立活動だけではいつまでも基盤作りだけになってしまう、各教科等だけでは学ぶための基盤が不十分、ということで、どちらも大切な学習活動になります。

では、どのように関連付けたらよいのか、具体例で考えてみます。



Aさんの困りごと・・・

テスト問題を解くときに解答用紙の欄に書き間違えたり、文章を書き写すときに行をとばしたりすることがある・・・

このことを克服・改善するためには、苦手だけど頑張ることができるようにすればいいのか？

その方法では『主体的に』取り組むことが難しそう・・・

丁寧な実態把握が大切！

＜困り感の背景は何か＞  
・空間認知の困難さ（行動観察、\*ORTの見取り）

＜中心課題を絞る＞  
・目印となるものを決めたり、自分で補助具を扱ったりできれば、学習しやすくなりそうだ。

\*目標、自立活動の項目選定、具体的な指導内容等

＜具体的な指導内容の一例＞  
・問題の番号と解答用紙の番号を指差しでマッチングしながら解答を記入する。  
→各教科の学習に生かす→学習しやすくなる

\*ORT～視能訓練士  
(文責：藤原 恵理子)

## 実践紹介① 自立活動【小学部】知的代替の各教科等を学習する学級

○本学級では・・・

児童一人一人の苦手なこと、伸ばしたいことをピックアップし、全員で取り組むこととしました。敢えて一人一人の課題を全員で取り組むことで、友達のまねをしたり、競争してみたりしてより課題解決を促すことをねらいとしています。

○今回の題材として・・・

全員の課題： 注視する。足元を見て歩く。 内容： 音符マットを見て、踏む。

○やってみると・・・

⇒最初は踏むと音が鳴ることが楽しく、マットを見ようとしていました。

○2回目以降は・・・

⇒音を出したいが、見通しがもてたことで、見ないで歩こうとすることが増えました。

○そこで・・・次のような工夫をしました。



・児童の注目をギリギリまで  
マットへ向ける。



・児童が繰り返し楽しめるよ  
うにルールを変える。



・最後まで見て踏めるように、  
一つ一つ順にマットを置く。



⇒足元へ注目することが増え、しっかりとマットを踏み、音を出すことができるようになってきました。今後も実態や進み具合に合わせて課題を変化させながら実施していきたいです。

## 教育専門監のコーナー

### 《遊びの中の学びと学びに向かう力》 【遊びの中の学びのかたち】

#### ◎新しい発見の喜び

予期しない動きが発生する、変化に富んだ活動。

#### ◎ルールの中での行動

友達と競ったり、できるまでの過程を楽しんだりできる活動。

#### ◎達成の喜び

勇気を出して挑戦する、難易度や課題性のある活動。

#### ◎友達と一緒に行動

これまでの経験に照らしたり、友達の行動を見たりしながら挑戦する活動。

#### ◎繰り返し行える仕掛けや道筋

気に入ったことを何度も繰り返して行うことのできる活動。

### 【遊びがもたらす学びに向かう力】

「社会に適合する力」「気を取り直す力」「ものごとをやりぬく力」「自分が置かれている状況を判断する力」など、遊びの中には、大切な学びがたくさん詰め込まれています。子ども達は様々な遊びを経験しながら学びに向かう力を身に付けていきます。

小学部の自立活動『わくわくタイム』、この時間は、3人の児童に、わくわく(新しい発見)、ドキドキ(勇気を出して挑戦)する学習を提案する自立活動の時間です。

今回の仕掛けは、踏むと音の出る音符マット。足元に並んだ音符マットを見て、音を響かせながら渡っていきます。ポイントはマットを踏む足の位置。つまずかないようにマット全体を捉え、きれいな音が響くように、足元と目指すマットをよく見ながら進んでいきます。

最初に、マットを指さし、次へ、次へと音を出して進む先生を見て、自分の体の使い方をイメージします。三つの色と音の違いが、活動に変化を与え、新しい気付きをもたらします。段差やマットの間隔、最後まで分からない配置、ルールの中での行動が学ぶ楽しさと達成の喜びをもたらします。幾つもの学びが子どもの体験を豊かにし、学習意欲をかき立てます。

大切にしているのは、一緒に学習する友達の存在。時に競い、時に協同しながら新たな学びを獲得していきます。3人の遊び心をくすぐるわくわくタイム、毎日のこの時間で楽しい1日の始まりを迎えます。

〈文責：二階堂 悟〉



教頭 兜森 宏征 地域支援部主任 大友 明希子

住所：〒010-1409 秋田市南ケ丘1丁目1番1号

E-mail: kirarisien@akita-pref.ed.jp

電話：018(889)8573 FAX：018(889)8575



「きらり Net」は本校ホームページから閲覧することができます。

<http://www.kagayaki.akita-pref.ed.jp/kirari/index.html>